

# 住まい方アドバイザー養成講座 第3期生の声

講座を受けての感想をご紹介します。講座にご興味を持たれた方、受講を検討されている方はぜひご一読ください。



第3期 大阪校 甲斐 萌さん(福岡県)  
営業/株式会社社長崎材木店

どのご家庭でも「片づけ」について悩みを持たれています。これまでは具体的な解決策を提示することができず「まずは物を捨てる」というような話をいつもしていました。しかし受講を通して「捨てる」「片づける」よりも、「整える」という言葉を意識するようになり、よりお客様の暮らしに寄り添うことができているように感じます。受講の度に、この話を、アイデアを、もっと早く聞けていたら！と悔しい思いをすることばかりです(笑)。近藤先生に教えていただいたことを今後の提案にもっともっと活かしていきたいと思っています。



第3期 東京校 佐藤 ゆかりさん(新潟県)  
二級建築士/オフィス Hanako 株式会社

先生の本を拝見して考え方や提案に感動し、それを取入れた提案をしておりました。以前は、お客様には経験と感覚で「大丈夫だと思います」といった話をしておりましたが、受講したことで寸法、数字、計算でお客様が納得できる話ができるようになりました。ライフスタイルは人それぞれ。各人の悩みに「なぜそうなっているのだろう」と考えることが提案につながります。計画やレイアウトによって住まいの悩みだけでなく、人生、考え方で解決できるのがすごい！と感じています。暮らしを楽しめる、子育てから老後まで人生を通しての提案ができるようになりました。



第3期 大阪校 安井 祥人さん(京都府)  
二級建築士/安井工務店一級建築士事務所

私は片づけが苦手で叱られてばかりでした。良い住まいが出来上がっても、その後、散らかって住みにくそうになさっているお客様を目にするのはとても辛かったのですが、「住み始めたらお客様任せ、仕方ない」と思っていました。ですが、近藤先生の話は目からうろこの連続で、帰るとすぐに図面の描き直しです。学んで「実践」し続ければ、お客様の暮らしが楽になり、笑顔になっていただけたと思います。片づけが苦手な私でも。



第3期 東京校 古畑 智子さん(長野県)  
二級建築士/ 有限会社フルハタ建設

きっかけは一般社団法人JBNに同封されていたチラシを見て、先生のことは知っていたので、「おもしろそう」と思ったからです。建築士の資格は持っていますが、経理を担当し設計の仕事はしていませんでした。受講してみると、必要な寸法を数値で理論的に説明でき、「暮らし」を提案できるところが良かったです。まだ自分に落とし込んでいるところですが、自宅で実践し、これからお客様に根拠ある提案がしたいです。



第3期 大阪校 粟飯原 啓子さん(徳島県)  
一級建築士/ Ai 建築工房

近藤先生のパワフルで情熱たっぷりの授業は毎回楽しく、理論も腑に落ちるものばかりでした。片づけや収納、処分することだけを押し付けるのではなく、生活される方の気持ちに寄り添うことを最優先にされている考え方がとても素敵でした。「住まい方」を変えることで、思考癖も変えることができ、人生も未来も変えることができる！そんな「暮らしの整え方」をアドバイスできるように実践していきたいです。



第3期 東京校 加藤 美保さん(福島県)  
営業/株式会社工房夢蔵

社長からこの研修に参加してみますか？と渡されたのがこの講座でした。この仕事を始める前から TV や本で知っていた近藤先生だったので、すぐに申し込みました。授業は毎回、熱く濃く、会う前の印象そのまま。授業で習ったパントリーへの物の収め方をお客様にお話したり、宿題の過程で自宅の改善をしたり、授業は公私ともに役立つことばかり。仲間と月一回会えるのも刺激的でした。絶対に損は無いです！



第3期 大阪校 國本 一実さん(広島県)  
営業・CAD/國本建築堂株式会社

以前に先生のセミナーに参加し、収納の重要性を感じていました。会社も収納に力を入れ始め、3期生の募集を知り申し込みました。授業はおもしろく、楽しく、そして役立つことばかりです。積極的にアドバイスする必要性や収納のおもしろさも知ることができました。今までダイニングテーブルやイスの位置など「何となく」でやってきたことや、姿見の位置などあやふやだったことが数値化されており、自己流だったのが、ちゃんと説明でき、自信を持ってお客様に伝えられるようになりました。

## ■お問い合わせ

近藤典子 Home & Life 研究所内

近藤典子の暮らしアカデミー事務局

〒162-0801

東京都新宿区山吹町 130-16 エスポワール 21-5F

TEL:03-3267-0537 FAX:03-3267-0534

web: www.kurashi-academy.jp

e-mail: n.academy@hli.jp

20180331

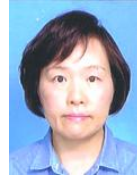
# 住まい方アドバイザー養成講座 第1期・第2期生の声

講座を受けての感想をご紹介します。講座にご興味を持たれた方、受講を検討されている方はぜひご一読ください。



第1期 大阪校 深見 清佳さん(愛知県)  
二級建築士/株式会社深見工務店

この業界に飛び込んで12年、お客様へのプレゼンや打ち合わせでどこか自信が持てないと感じていました。しかし、この講座に通い始めて、打ち合わせをするたびに自信を持ってお客様に提案をしている自分に驚きました。引き出しが少しずつ増えていき、今では自信をもってプレゼンしています。最後の授業で先生がおっしゃった、「これで終わりではない、ここからが始まり」という言葉を胸に刻み、これから典子イズムを広めていこうと思います。



第1期 大阪校 高比良 万紀さん(大阪府)  
営業・インテリアコーディネーター/高榮住建株式会社

とにかく毎回授業を受けるのを楽しみにしていました。家に携わる仕事は正直大変ですが、お客様に喜んでいただける仕事について良かったと心から思っています。これからはもっと住まい方について奥まで色々な提案ができるようしっかり頑張ります。先生との出会いだけでなく、大阪校で同じ住宅業界で頑張っている仲間が沢山でき、意見交換できたことも幸せな時間でした。卒業後も連絡を取り合う機会があり、お互いの近況を報告しあえることは私にとって大きな力になっています。



第1期 東京校 二宮 かおるさん(神奈川県)  
主婦

受講した期間を振り返ると、時間的にあつという間でしたが、その内容は濃く、とても変化に富んだものでした。初めて“三角スケール”を知り、それまで図面など書いたことがなかったので、宿題をこなすのにも時間がかかり、焦りや不安で、思うように前に進めない時期がありました。が休憩時間や授業終了後にも丁寧に指導してくださり、乗り越えることができました。この講座は、近藤先生のこれまでの経験に基づく貴重なお話を伺うことができ、住まい(住まい方)に関する実践的な知識を身に付けることもできる、プロ方々にはもちろん、主婦の方々などにとっても、大変良い機会になることと思います。



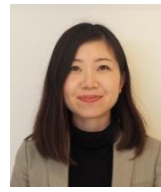
第1期 東京校 佐藤 春代さん(埼玉県)  
一級建築士/有限会社佐藤工務店一級建築士事務所

近藤先生のハワフルな授業が毎回楽しみでした。アカデミーで習う内容は、すぐに仕事に役立っています。授業を受けてから、お客様にご説明する視線や表現の仕方が変わってきていると感じていたところ、「そこまで考えて頂いて…」と、感謝のお言葉をいただきました。皆さん、住まい方を本当に悩まれています。今回学んだ裏付けのある数字や方法は、お客様に受け入れていただいていると確信しております。また私自身人生で何が大事か、考えるよききっかけにもなっています。



第2期 大阪校 山本 武文さん(滋賀県)  
リフォーム営業・設計/株式会社ジェイプラス

長く携わってきた「リフォーム」の世界で多少の自信を持っていた自分が、先生の授業を受けるにつれて次々と、変化していることに気づきました。「空間の整理」だけでなく、「暮らしの整理」の重要性を学び、「お客様の暮らし」に寄り添う事でこれまで以上にお客様からの信頼を得られるようになりました。



第2期 大阪校 伊藤 杏さん(京都府)  
住宅営業・コーディネーター/株式会社イー住まい

これまでは、暮らし方や住まい方について明確な提案を行うことができずと感じていました。この講座では提案を行うだけでなく、的確な説明の方法を学ぶことができました。説得ではなくお客様に納得して頂ければ、快適な暮らしづくりをお客様自身が維持して頂けると思います。知識を活かして、今後の住まい方提案に役立てていきます。



第2期 東京校 大宮 千佳さん(愛知県)  
企画開発/タック株式会社

暮らしに関わる知識や具体的なモノの寸法、動作に必要な空間領域を学び、吸収した内容を実践で繰り返すことで、お客様が感じていらっしゃる暮らしの中にある漠然とした悩みや、困りごとについて身をもって感じる事ができました。また、収納という概念を超え、暮らしの動線や視線を含め、本当に求められている空間の在り方を学びました。根拠を踏まえ、伝わりやすく納得して頂ける収納プランの提案に活かしていきます。



第2期 東京校 佐々木 真理子さん(栃木県)  
二級建築士/有限会社佐々木設計計画

近藤先生のハワフルでユーモアあふれる話術に魅せられ、そして30年、2000軒以上の実績に基づき導き出された理論や寸法に、私自身も腑に落ちることばかりで、毎日が楽しみな授業でした。特別授業には関係者も参加可能ということで夫(建築士)も一緒に参加し、完成建物を見学しながら、なぜそう提案したか具体的な説明を受けました。「百聞は一見に如かず」で、細かな点まで考え抜かれた配慮に驚き、夫も近藤ファンとなり今では私が授業で学んだ内容を盛り込んだ提案に耳を傾け、理解を示してくれています。